

ぎやらりい・金木犀



北側外観。ギャラリーの入口兼自宅玄関。少しゆっくりアプローチしています。

講評

いい住宅とは、訪れた時より家に戻ってから余韻が残る住まいがいいと云われている。

この住まいは、昭和40年代に建った家のリフォームではあるが私にはほのかな余韻が残った家で、久しぶりの感慨があった。何故だろうか？

奥様は東京のデパートで毎年個展を開催する画家、ご主人は学校の教師で最近退職したばかり。共に還暦を迎え、1階の玄関、居間台所を取り壊しギャラリーに変身している。

余韻の一つは、ギャラリーの奥様の美しい絵画が訪れる人の心を癒してくださることがある。

10畳の和室がDKに生まれ変わったが、狭い空間を意識させない為、天井を低く抑えたこの広さに対し快い空間を演出していて気持ちがいい。

ご主人の書斎は8畳程の広さ、部屋は壁面全てが蔵書で埋め尽くされている。正に書斎そのものである。ご主人は書斎で、奥様はアトリエで一日を過ごし、合間に食堂で触れ合う微笑ましい光景が目につく。

老後の新しいライフスタイルとして、自分だけの空間の中で生活し、居間、食堂は最小限でもいいと云う住まいがこれから増えそうだ。



居間と台所をギャラリーに改修。



出入口。ご主人が彫った看板と奥様が描いた絵を元にしたスリガラス。



北側外観。夜景。



和室(10帖)を居間、食堂、台所に集約。



書斎側からの見返し。



旧玄関部分を事務所(オーナールーム)に改修。

施主様の声

「ギャラリーを開きたい」という夫婦の長年の思いを、リフォームという形で実現させることができました。この豊かな空間で人生の後半をスタートでき、今は充実した日々を過ごしています。誠意を持って取り組んでいただいた設計事務所と工務店に感謝しています。



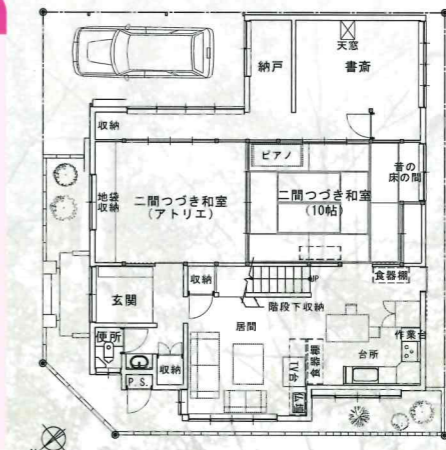
事務室の窓部分の外観。



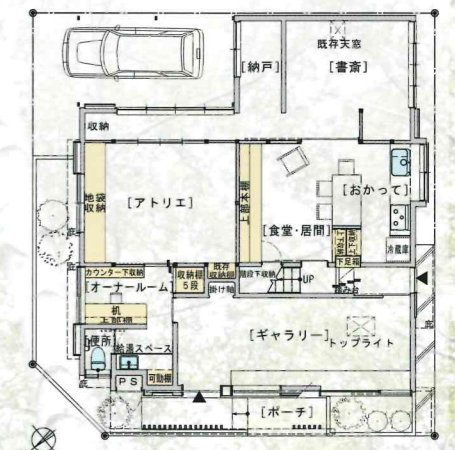
出入口(旧居間)方向を見る。

ぎやらりい・金木犀 DATA

建築場所	静岡市清水区
完成年	平成21年9月
規模	木造2階建 延べ136.26㎡
種別	戸建専用住宅
設計者	(株)自由工房静岡事務所 石田正年(静岡市)
施工者	(株)山崎工務店 山崎茂(静岡市)
写真提供者	(株)自由工房 原田さやか(撮影者)



1階平面図(改修前)



1階平面図(改修後)